

補助事業番号 2024M-313  
補助事業名 2024年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業  
補助事業者名 三重県

## 1 補助事業の概要

ものづくり企業の製品開発と生産性向上等を支援するために必要な機械設備（EMI測定システム、真空紫外ICP発光分光分析装置）を導入し、製品の高品質化、不良対策等を通して、当研究所が実施する研究、企業との共同研究、依頼試験、機器開放、企業の技術人材育成に活用します。

- ① EMI測定システムは、医療機器、照明器具、情報技術装置等の各種電気製品から放出される電磁妨害波（EMI）が規制値以内かどうか測定評価を行います。
- ② 真空紫外ICP発光分光分析装置は、金属材料の成分分析や、工業原料・製品中の微量成分など、共存物の多い材料の元素分析を行います。

## 2 予想される事業実施効果

本事業により導入した機器を活用することで、本県のものづくり中小企業などにおける製品の品質向上、試作開発・新製品開発につながることを期待できます。

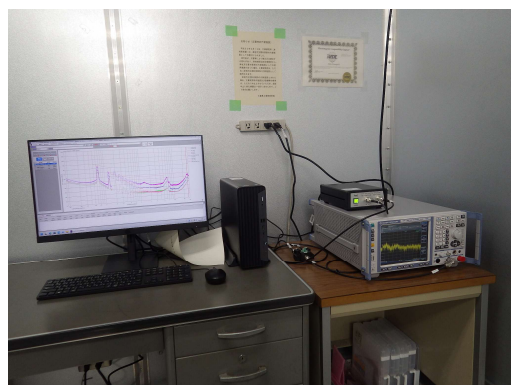
また、当所の研究、依頼試験、技術支援（機器開放、人材育成など）においても活用を進めていきます。

## 3 本事業により導入した設備

### ① EMI測定システム

(<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/41644032881.htm>)

EMI測定システムは、電気製品から放出される電磁妨害波を擬似電源回路網、吸収クランプ、アンテナ等の各種トランスデューサにより捕捉・検出し、その値を測定受信機で測定することにより、製品の電磁妨害波が世界各国のEMC規制に適合しているかどうか確認・試験するためのシステムです。電磁妨害波の測定方法は、CISPR規格等の国際規格で詳細に定められており、手順も複雑なため、自動測定ソフトウェアを用いて測定を行います。また、今回導入した設備は、タイムドメインスキャン機能に対応しているため、測定漏れがない高速・短時間の測定が可能なシステムとなっています。



設置場所：【三重県工業研究所 共同研究A棟 1階 電波暗室及びシールドルーム】

## ② 真空紫外 ICP 発光分光分析装置

(<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/41644032881.htm>)

真空紫外 ICP 発光分光分析装置は、金属材料の成分分析や、工業原料・製品中の微量成分など、共存物の多い材料の元素分析に用いることのできる、シーケンシャル型の ICP 発光分光分析装置です。本装置は真空紫外領域を含む波長範囲 130～850nmでの測定が可能で、分光干渉の少ない波長域を選択した分析が可能になります。溶液化した試料を分析でき、高塩濃度試料に対応できる導入系を付属しています。



設置場所：【三重県工業研究所 金属研究室】

## ②本事業に係る印刷物等

案内チラシ（EMI 測定システム）

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001182211.pdf>)

案内チラシ（真空紫外 ICP 発光分光分析装置）

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001182212.pdf>)

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 三重県工業研究所（ミエケンコウギョウケンキュウシヨ）

住所： 〒514-0819

三重県津市高茶屋5丁目5番45号

代表者： 所長 増田 峰知（マスタ タカノリ）

担当部署： 企画調整課（キカクチョウセイカ）

担当者名： 主幹 藤原 基芳（フジワラ モトヨシ）

電話番号： 059-234-4036

F A X： 059-234-3982

E-mail： [kougi@pref.mie.lg.jp](mailto:kougi@pref.mie.lg.jp)

U R L： <https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>